

K-6：11月10日（日）（11：15～12：45）

<p>タイトル</p>	<p>チャレンジする大学院 「 慶應 SDM 」</p> <p>～ リーダーシップを育てるコミュニケーション重視の教育システム ～</p>
<p>講演者</p>	<p>慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授</p> <p>当麻 哲哉（とうま てつや）氏</p>
<p>講師紹介</p>	<p>PMP（プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル）、PMI日本支部 理事（教育担当）、KPRI（慶應フォトニクス・リサーチ・インスティテュート）副所長</p> <p>略歴</p> <p>1963年 東京生まれ</p> <p>1988年 慶應義塾大学大学院 理工学研究科 修士課程修了 同年 住友スリーエム株式会社 入社</p> <p>2001年 住友スリーエム 退社、3M（米国） 転籍</p> <p>2007年 3M 退社、科学技術振興機構 小池フォトニクスポリマープロジェクト 研究員</p> <p>2008年 慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 准教授</p> <p>現在に至る</p>
<p>概要</p>	<p>激動する現代社会の中で、日本は数々の問題に直面しています。少子高齢化、自然災害、国際競争力の低迷、領土問題、TPP... しかし落胆してはいけませんし、落胆する必要もありません。日本という国は、世界に誇れる優れた技術力と、高い品質から生まれた信頼性、そして何よりも最高のサービス精神を持っているではありませんか。問題は、それらをどのように社会の問題解決に適用し、世界へ展開していくのか、誰がリーダーシップを取っていくのか、というところにあるのでしょうか。</p> <p>演者の当麻氏は言います。「誰かがきつとやってくれる、政府が主導しなくちゃできない、などと人のせいにする前に、新しいリーダーシップの考え方を学んでみようではありませんか。それは、今までフォロワーだと思われてきた私たち一人ひとりの知恵を結集することで生まれてくる、会話型のリーダーシップ・スタイルです。」</p> <p>慶應 SDM では、チームメンバー個々人の知恵を「集合知」としてつなぎ合わせていくことによって、チーム全体が一丸となって発揮するリーダーシップ・スタイルを提案しています。</p> <p>2008年の設立当初から、コミュニケーションを最も重要な活動とし、チーム全体から社会を動かす原動力を引き出す人材育成教育が行われてきました。日本人が得意とするチームワークによって、世界を変えるイノベーションを起こしていきたい、これが慶應 SDM のチャレンジです。</p> <p>本講演ではこれからのプロジェクト・マネジャーに必要とされる「集合知」のつなぎ合わせ方に踏み込み、チーム力、リーダーシップ力を高めるヒントをお持ち帰りいただきます。</p>